



“地域のことは地域で考えよう”

2016年9月27日

おきぎん県内景況・速報 2016年8月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を下回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年8月分)

◎2016年8月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品の売上減少などから、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンや冷蔵庫の売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数はレンタカー需要の増加などから前年同月を上回りました。

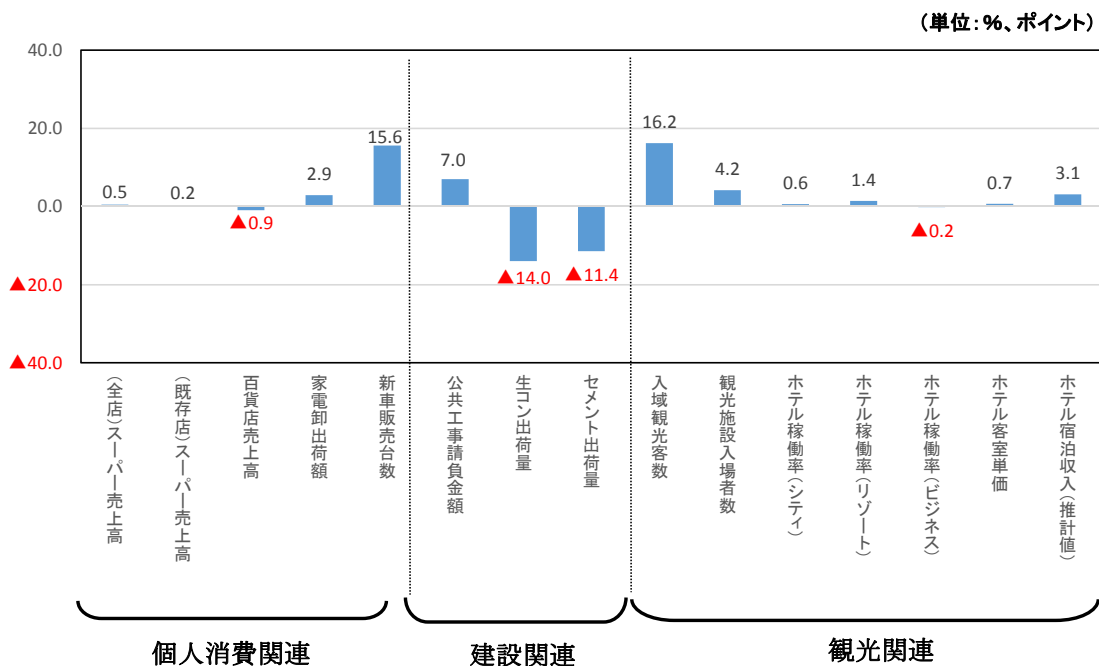
建設関連では、公共工事請負金額は、市町村やその他の公共的団体発注による工事増などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は47ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から31ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



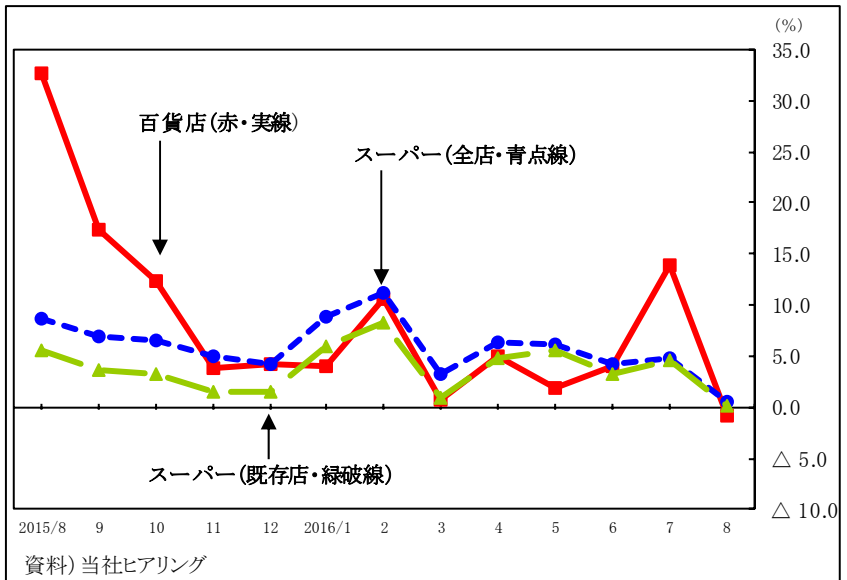


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9

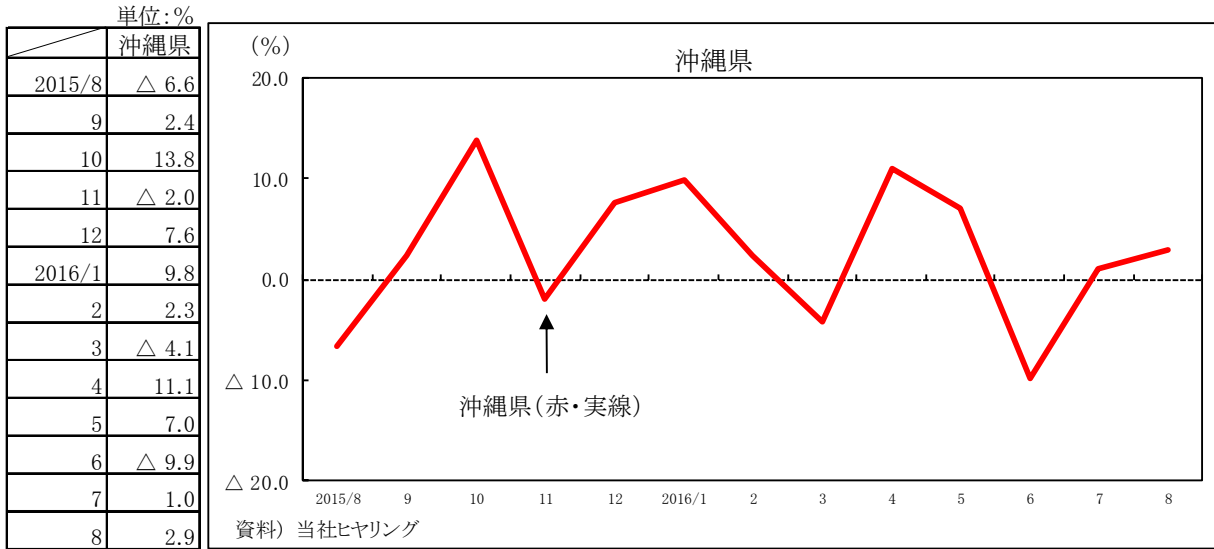


注) 前年同月比

8月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比0.5%増)**」が17ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より休日が1日少なかった(土、日曜日が各1日減、祝日が1日増)ほか、ウエイトの高い「食料品(同0.5%減)」が落ち込んだものの、「衣料品(4.5%増)」や「家庭用品(同4.1%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「**既存店ベース(同0.2%増)**」は、店舗改装による集客効果などから、17ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同1.0%減)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったものの、旧盆時期(今年:8/15-17、前年:8/26-28)が早まり、一部の中元ギフト需要が7月に前倒しされたことなどから、前年同月を下回りました。一方で、「衣料品(同5.3%増)」は、前年に台風襲来の影響で落ち込んだ反動や、気温が高く推移したことなどから、夏物衣料の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同3.9%増)」は、買い替え需要などから白物家電(洗濯機、エアコン)やテレビなどの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、店舗改装や会員企画開催による集客効果がみられたものの、「食料品」の売上減少などから、前年同月を下回りました(同0.9%減。2014年9月のサンプル数変更後、24ヵ月ぶりの減少)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同1.5%増)」は、主力商品である「婦人服(同0.3%増)」や「その他衣料(29.2%増)」が、販促効果や訪日観光客需要などにより売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同9.7%増)」や「身の回り品(1.4%増)」では、催事の増加や継続的な国内外客需要などから売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。一方で、「食料品(同15.7%減)」は、前年に大きく伸びた反動減や一部の中元ギフト需要が7月に前倒しされたことなどから、前年同月を下回りました。

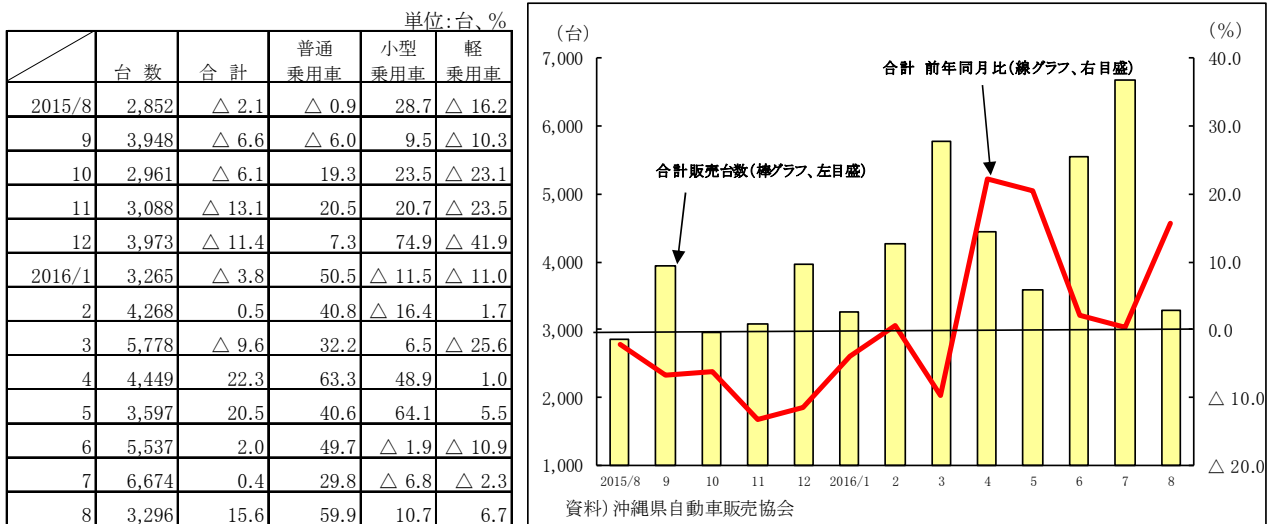
②家電卸出荷額…エアコンや冷蔵庫の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンや冷蔵庫の売上増加などにより、2 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 2.9%増)。品目別では、「エアコン(同 38.9%増)」は、前年に落ち込んだ反動に加えて、気温が高く推移したことなどから売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。また、「冷蔵庫(同 30.5%増)」や「洗濯機(同 23.3%増)」は、新型商品効果や旧型商品の販促強化などから売れ行きが伸び、それぞれ前年同月を上回りました。一方で、「テレビ(同 6.6%減)」は、新型商品効果が一部でみられたものの、前年に伸びた反動の影響などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要の増加などから、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

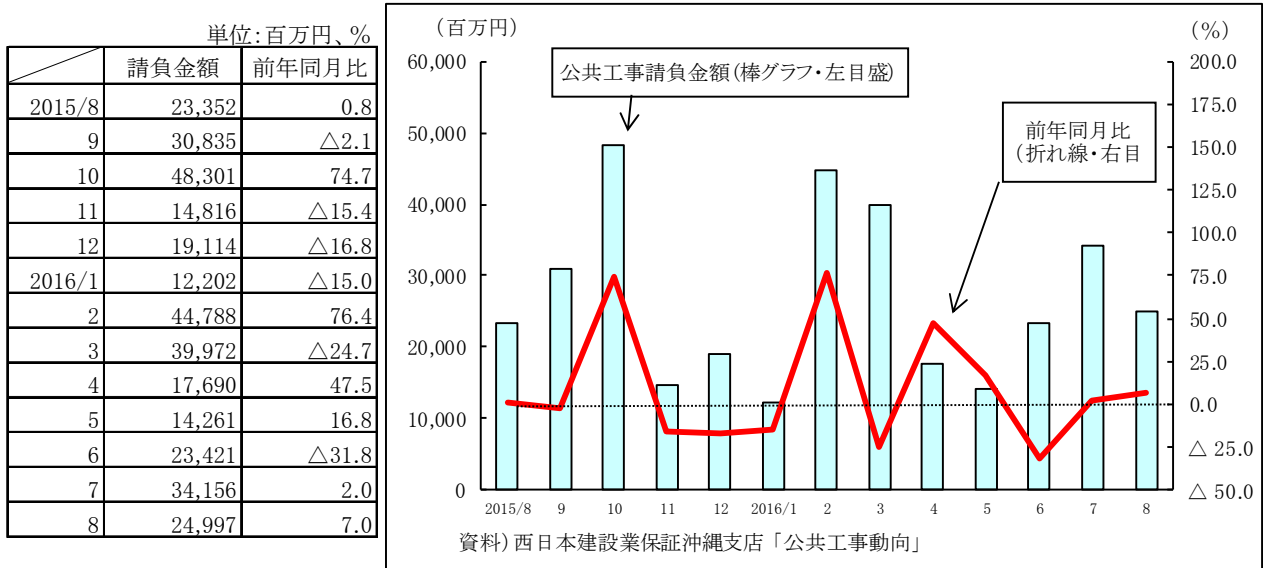
新車販売台数は、全体で 3,296 台(同 15.6%増)となり、5 ヶ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、レンタカー需要の増加などから「普通乗用車(同 59.9%増)」は 11 ヶ月連続、「小型乗用車(同 10.7%増)」は 3 ヶ月ぶりに、それぞれ前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 6.7%増)」は、前年に落ち込んだ反動などから、3 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



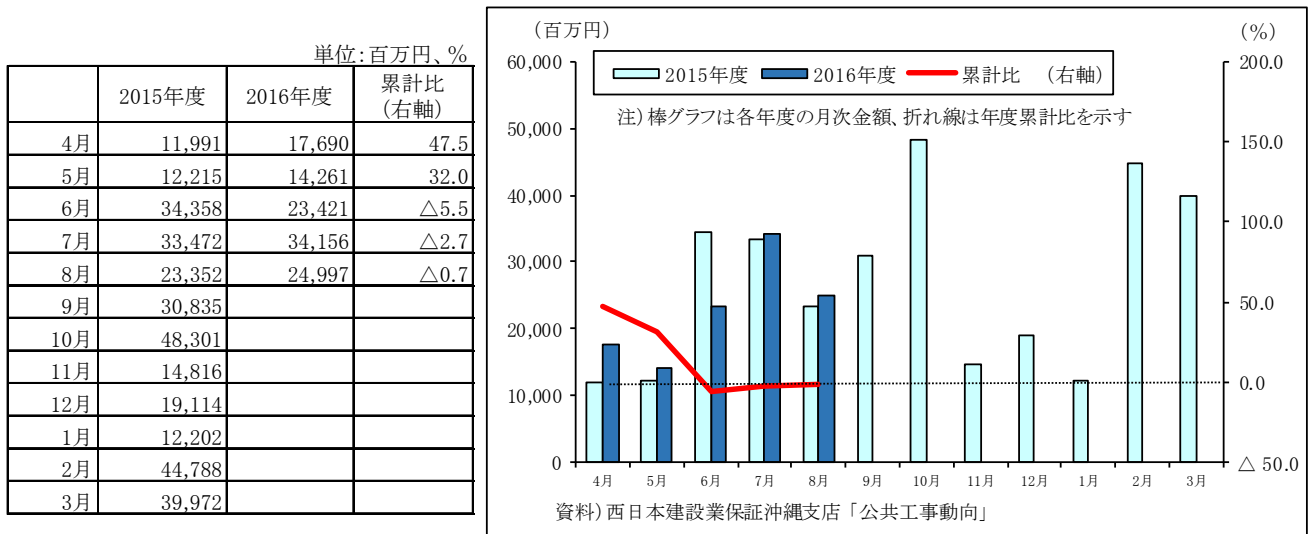
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



8月の公共工事請負金額は、前年同月比7.0%増の249億9,700万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「市町村(同9.6%増)」は恩納村でのダム工事などの大型案件、「その他の公共的団体(同10.1倍)」は前年の水準が低かったことに加えて沖縄都市モノレール設備工事など、「独立行政法人等」も前年同月を上回りました。一方で、「国(同3.7%減)」や「沖縄県(同3.2%減)」などは下回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

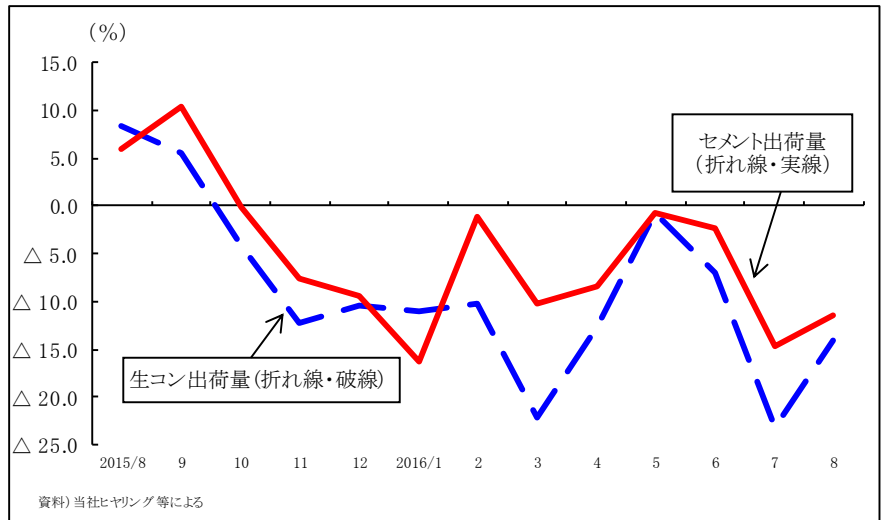


今年度4~8月までの累計を前年度同期と比較すると、0.7%減となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2015/8	8.4	5.9
9	5.5	10.4
10	△ 4.2	△ 0.2
11	△ 12.2	△ 7.7
12	△ 10.5	△ 9.4
2016/1	△ 11.0	△ 16.3
2	△ 10.2	△ 1.2
3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4



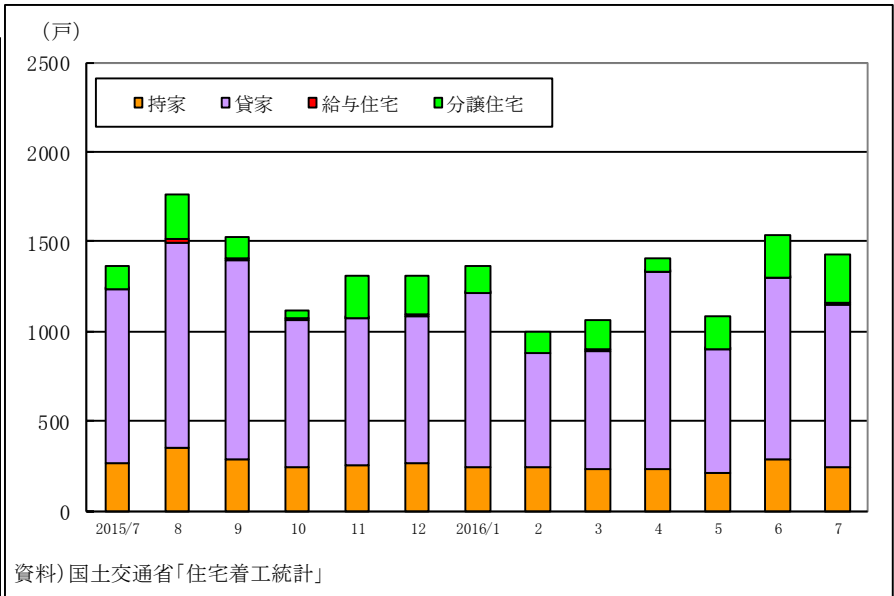
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は14.0%減少し11ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年あった空港関連の大型工事の反動などで前年同月より38.6%下回り、民間工事向け出荷は7.8%上回りました。セメント出荷量も11.4%減と11ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(7月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2015/7	1,362	16.2
8	1,764	19.0
9	1,527	17.4
10	1,118	9.8
11	1,306	7.4
12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7
2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

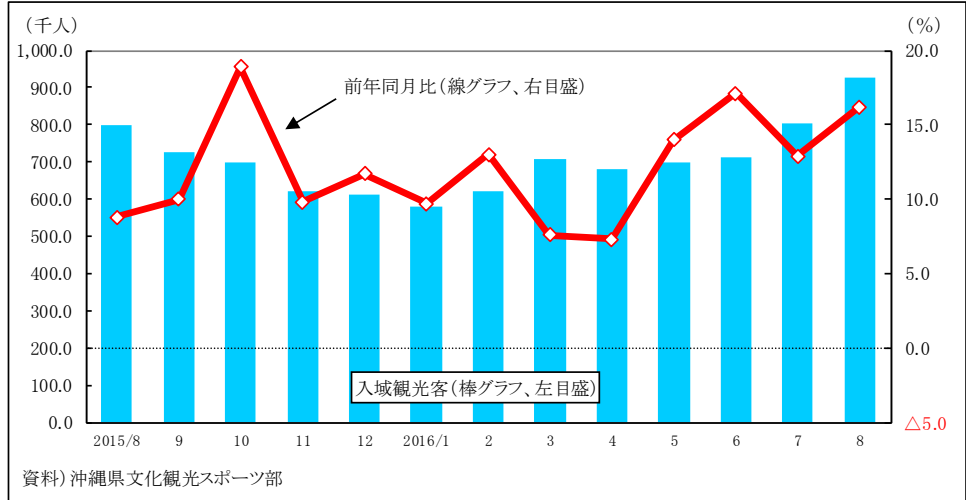
新設住宅着工戸数(7月)は、全体で前年同月比5.1%増の1,432戸と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同121.8%増)」や「給与住宅(同100.0%増)」は前年同月を上回りました。一方で「持家(同9.4%減)」やウェイトの高い「貸家(同6.0%減)」は下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…47ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	697.1	14.0
6	714.4	17.1
7	805.8	12.9
8	926.9	16.2

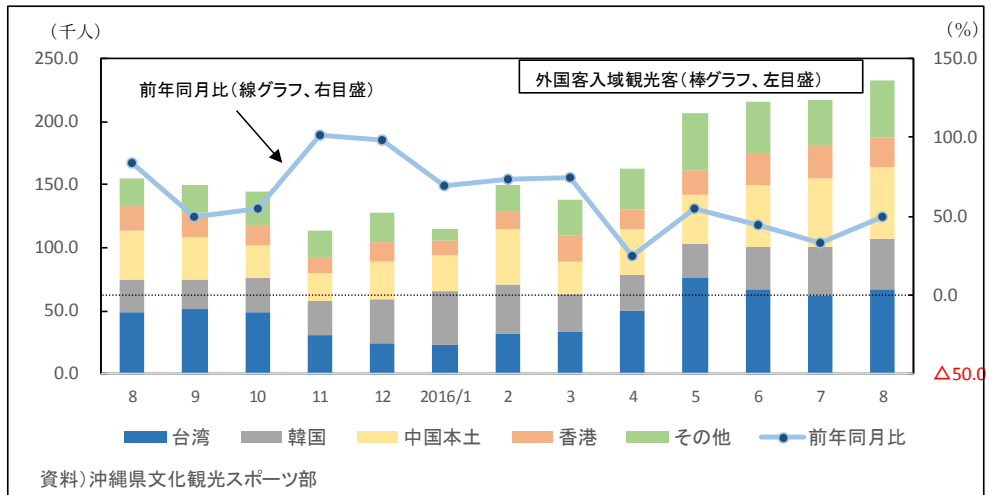


※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…37ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5
6	215.9	44.7
7	217.3	33.3
8	232.0	50.0



※外国客は乗務員等を含む

8月の入域観光客数は、129,400人多い926,900人(前年同月比16.2%増)となり、47ヵ月連続で前年同月を上回りました(8月としては過去最高、単月として初の90万人超え)。

内訳をみると、「国内客(同8.1%増)」は694,900人と、夏休みの旅行需要の高まりや各航空会社における航空路線拡充等(深夜便、お盆期間の増便等)により好調に推移しました。また、昨年は台風襲来の影響(13号、15号)があったものの、今年は台風による影響が少なかったことから、その反動効果も加わり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同50.0%増)」は、232,000人と37ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により、空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同36.0%増)」「韓国(同57.9%増)」「中国本土(同46.5%増)」「香港(同20.4%増)」

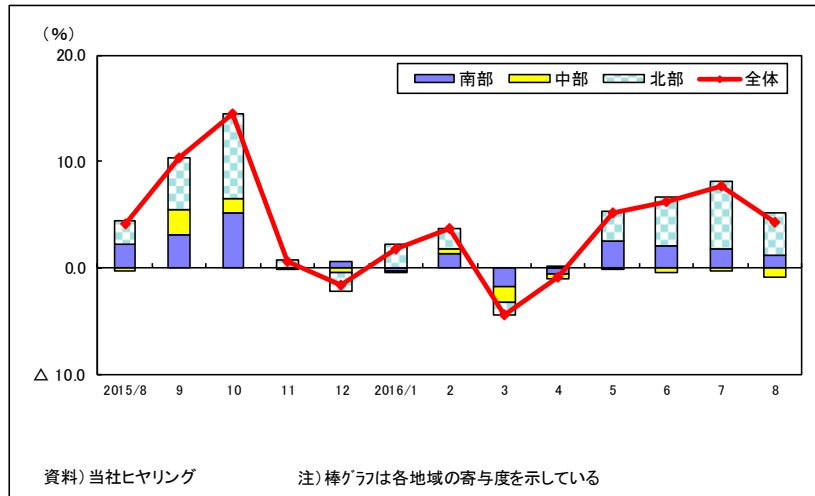
※乗務員等を除く2016年8月実績＝全体892,200人(同14.1%増)、外国客197,300人(同41.5%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△ 0.4	0.3	1.7
12	△ 1.6	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	1.8	△ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△ 4.6	△ 11.4	△ 2.2
4	△ 0.9	△ 1.5	△ 3.0	0.3
5	5.2	6.5	△ 0.8	5.7
6	6.2	5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	r 5.1	△ 3.1	11.8
8	4.2	3.5	△ 6.9	7.3

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より 4.2%増加(4ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 3.5%増と4ヵ月連続、北部は同 7.3%増と5ヵ月連続で上回り、中部は同 6.9%減と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルは前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。

単位: %、ポイント

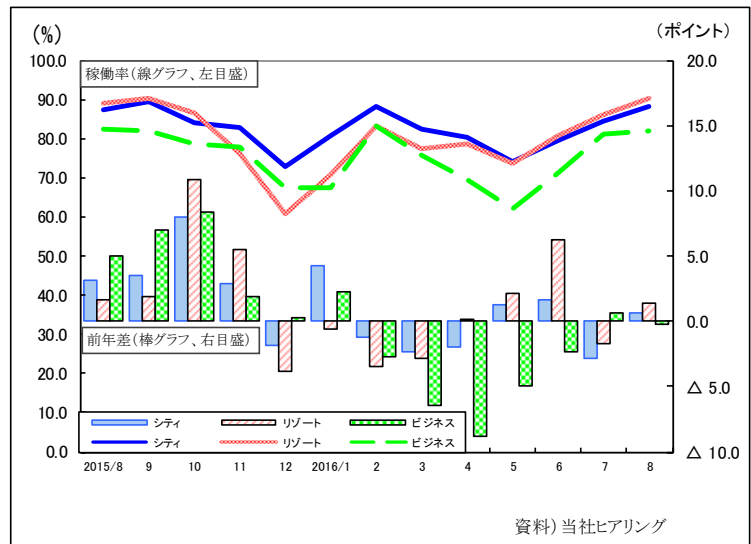
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/8	87.5	89.0	82.2	3.1	1.7	5.0
9	89.3	90.4	82.1	3.5	1.9	7.0
10	83.9	86.7	78.6	8.0	10.8	8.4
11	82.9	76.0	77.6	2.9	5.5	1.9
12	72.8	60.9	67.4	△ 1.8	△ 3.8	0.3
2016/1	80.5	70.9	67.3	4.2	△ 0.6	2.2
2	88.3	83.3	83.4	△ 1.2	△ 3.5	△ 2.7
3	82.3	77.3	75.9	△ 2.3	△ 2.8	△ 6.5
4	80.1	78.6	69.3	△ 2.0	0.2	△ 8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2

注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が増(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が増(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

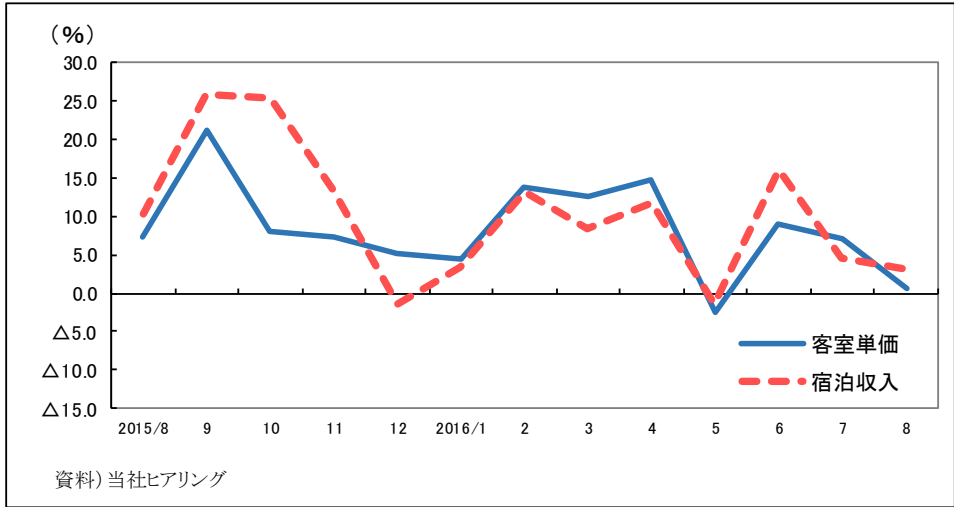
*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが 88.1%と 0.6 ポイント上昇(2ヵ月ぶり)、リゾートホテルが 90.4%と 1.4 ポイント上昇(2ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが 82.0%と 0.2 ポイント減少(2ヵ月ぶり)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2015/8	r 7.3	r 10.4
9	21.1	25.8
10	8.0	25.4
11	7.3	13.4
12	5.1	△1.3
2016/1	4.5	3.3
2	13.7	13.2
3	12.7	8.5
4	14.7	11.8
5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 0.7%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同3.1%増と前年同月を上回りました。

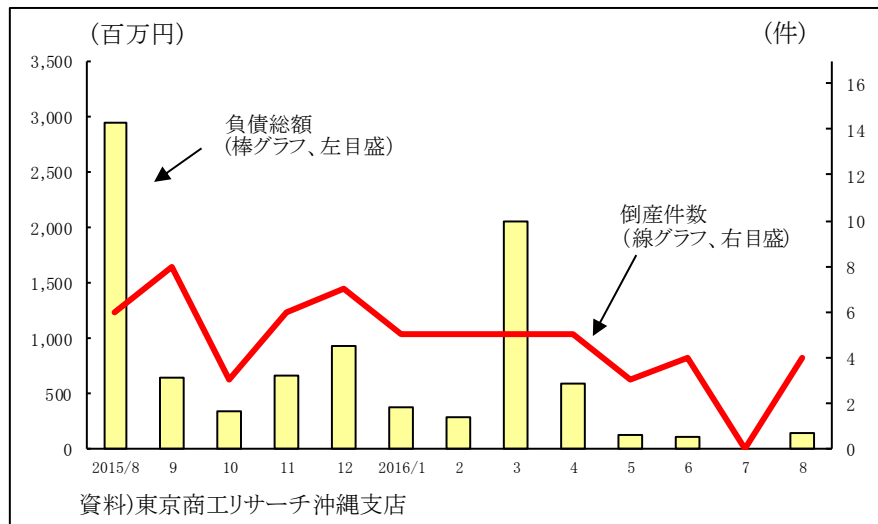


■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2015/8	2,936	6
9	649	8
10	333	3
11	665	6
12	919	7
2016/1	375	5
2	282	5
3	2,050	5
4	596	5
5	122	3
6	110	4
7	0	0
8	143	4



8月の企業倒産件数・負債総額は、4件(うち大型・大口倒産は無し)となり、前年同月より2件減少しました。負債総額は1億4,300万円となり、前年同月より95.1%減少しました。

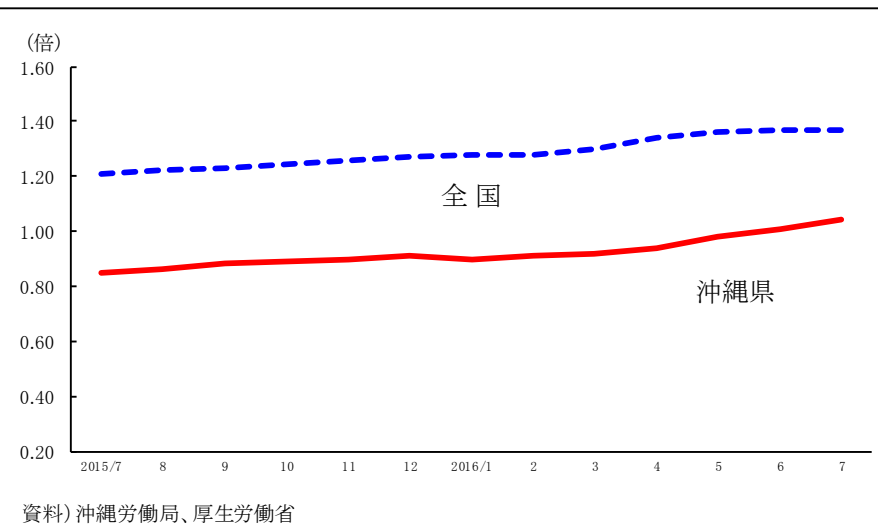


【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(7月)…沖縄は前月より上昇、全国は同数。

単位:倍

	沖縄県	全国
2015/7	0.85	1.21
8	0.86	1.22
9	0.88	1.23
10	0.89	1.24
11	0.90	1.26
12	0.91	1.27
2016/1	0.90	1.28
2	0.91	1.28
3	0.92	1.30
4	0.94	1.34
5	0.98	1.36
6	1.01	1.37
7	1.04	1.37



注)季節調整済

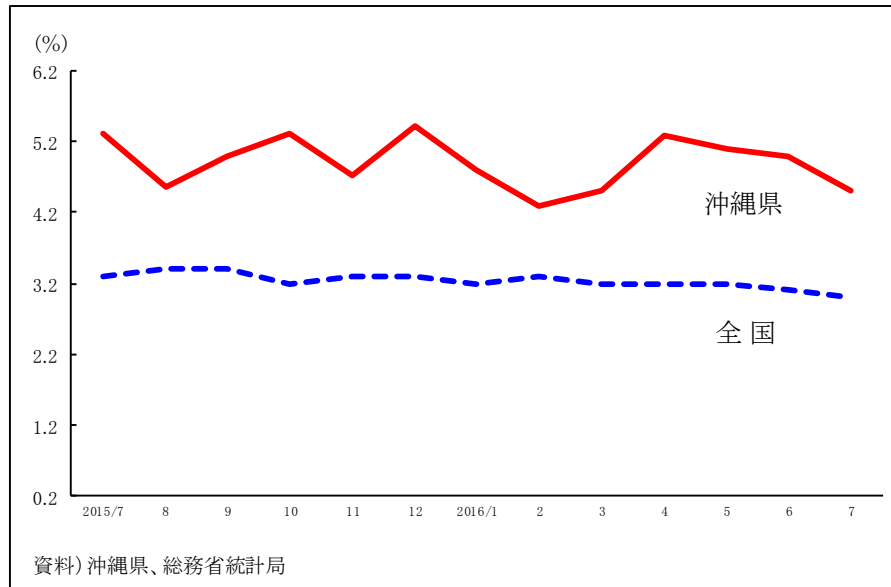
注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.4%増の27,246人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.3%減の26,215人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.04倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(7月)…前月より下落。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2015/7	5.3	3.3
8	4.6	3.4
9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2
5	5.1	3.2
6	5.0	3.1
7	4.5	3.0

注) 季節調整済



7月の完全失業率(季節調整値)は、4.5%となり前月より0.5ポイント下落しました。